



閃光纏姫 フェリシア

～狙われた憑依変身ヒロインの肉体～
原作：憑依好きの人
作画：孝至



ヴァイオレット・パニッシャー！

ぐああああっ！！

これで終わりね！
観念しなさい

光里油断しないで！
まだ何か企んでる
かもしれませんが



くくっ…その力
素晴らしいな本当に…

っ！待ちなさい！



またすぐに
会うことになる
その時を楽しみに
しておけ

逃げられちゃいましたね

うん…でも
街のみんなを
守ることはできた

私は閃光纏姫フェリシア

異世界からの侵略者
アビステラーから
この世界を守るため
戦う正義の味方

ついこの間まで
ごく普通の女子高生
だった私は

あいつらに襲われそうに
なった時にアイリスと
出会ってこの力を入れた

アイリスは
元々の世界の
お姫様だったけど

アビステラーに国を
滅ぼされてからは
私たちが助けるために
こっちの世界に来て
くれたらしい

私は父も母も
そして民を目の前で
奪われました

あなたたちに
同じような想いを
させたくはありません

光里
あなたに私の
力を託します

そう言っ
てアイリスは
無力な私に力を貸してくれた

私はアイリスを自分の身体に
憑依させることでフェリシアに
変身することができる

これはアイリスの
「特別な力」のおかげで
アイリスが魂だけの状態に
なっているのもその力に
よるものらしい

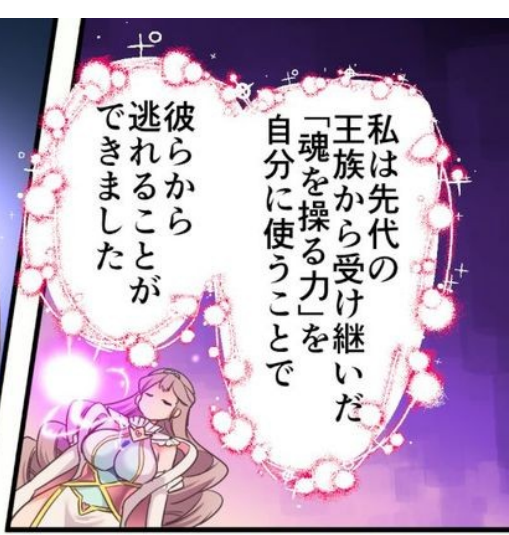


だから――

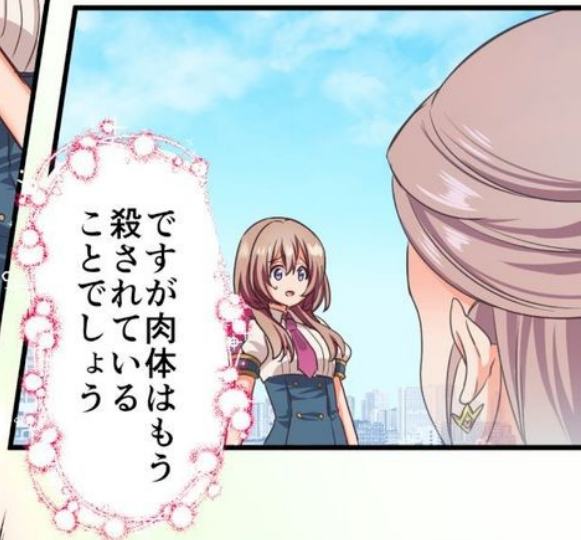
私と一緒に戦うよ



それでもまだ戦うという
アイリスの決意を聞いた私は
胸が張り裂けそうになった



私は先代の
王族から受け継いだ
「魂を操る力」を
自分に使うことで
逃らから
逃れることが
できました



ですが肉体はもう
殺されている
ことでしよう



アイリスと一緒に
この世界を守ってみせる

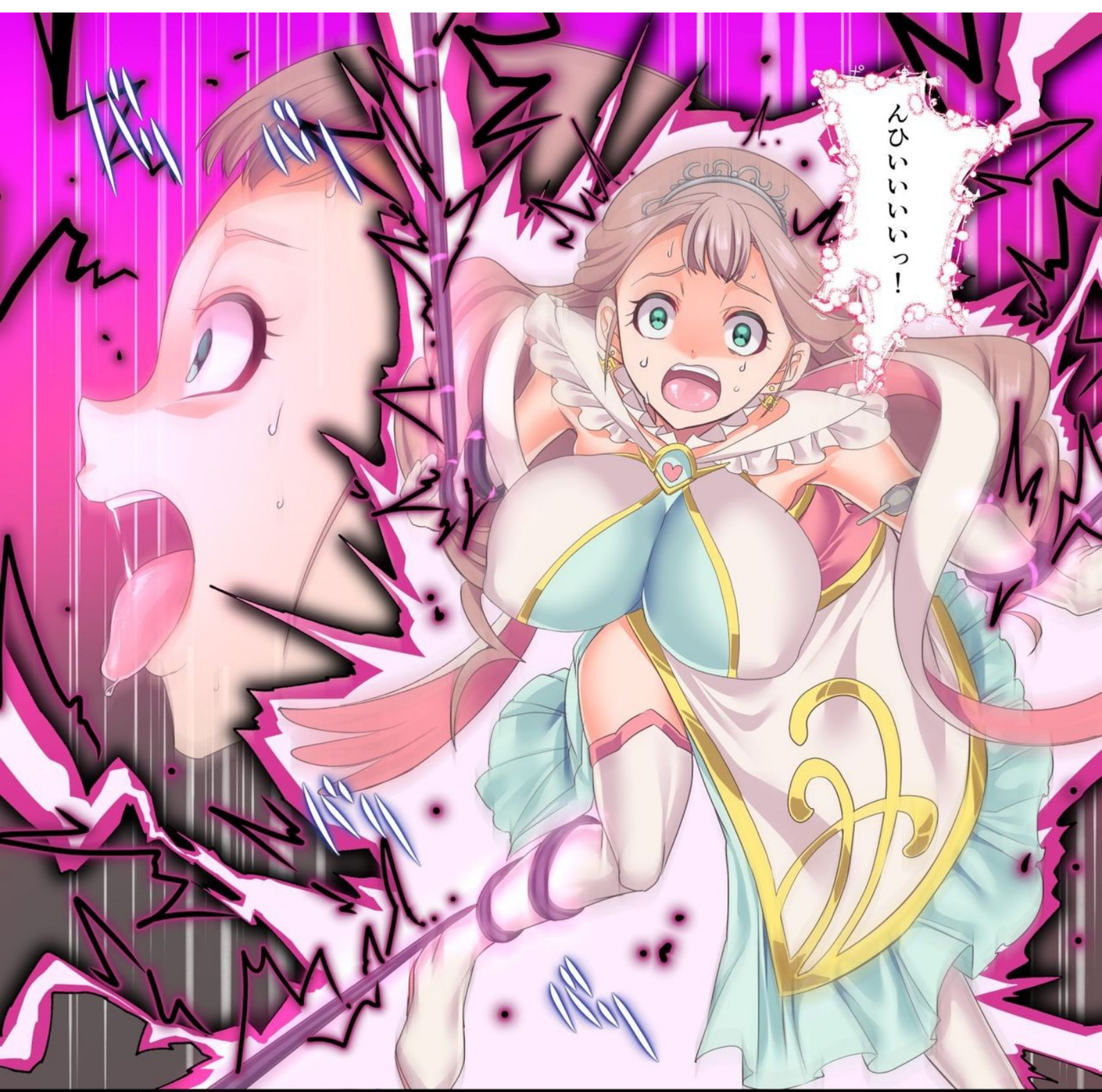


お前の故郷からは
永久に失われた光景だな

この世界の夜は
こんなにも輝いて
いるのですね

っ!!
あなたは…
ヴォイド!

ザッ
ザッ
ザッ



ゴゴゴゴゴゴ



お前には俺の役に
立ってもらわないと
いけないからな

ゴゴゴゴ





ようやくお目覚めか？
ようこそアビステラー研究室へ

ヴォイド！

うっ……ここは…？



なにこれ！
抜け出せない!!

私を捕らえて
どうするつもり
ですか！



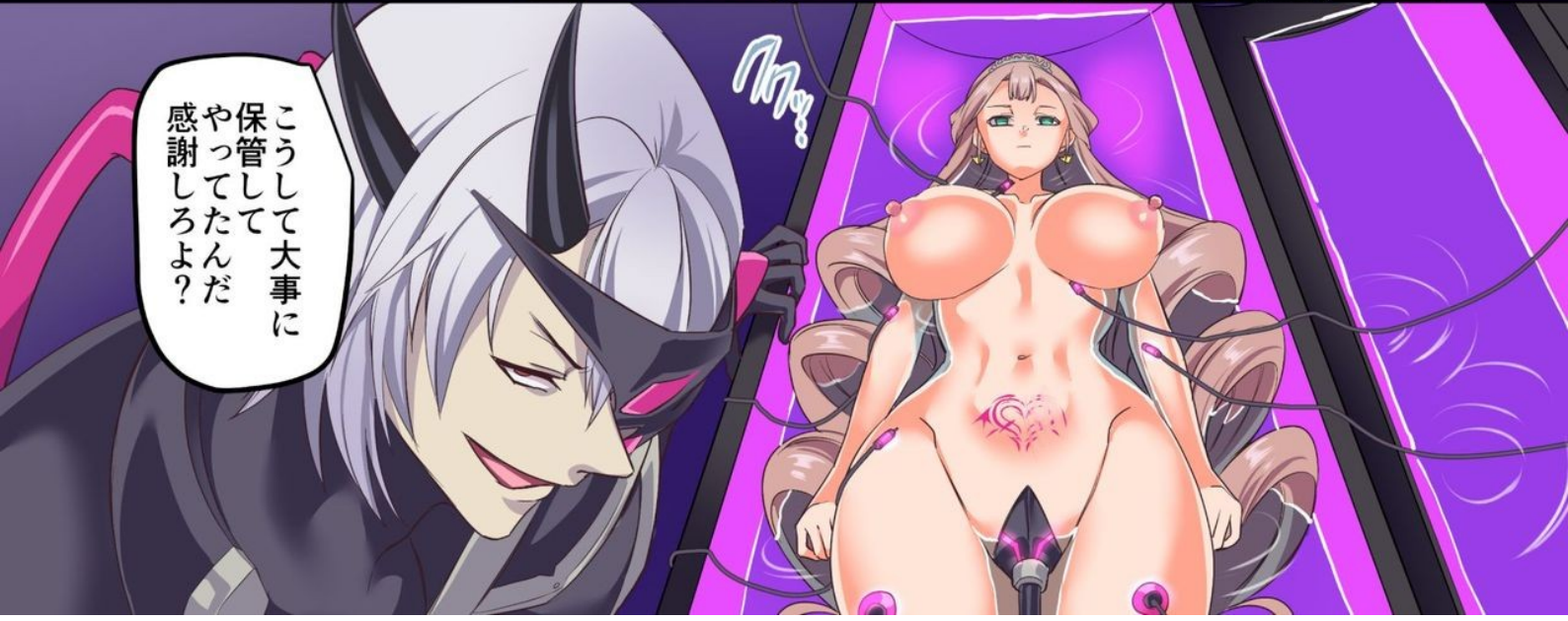
そう慌てるな
お前にぜひ
見せたいもの
があるんだ



なっ...!?

懐かしいだろ？

正真正銘お前が
俺たちから
逃げたために
手放した肉体だ



こうして大事に
保管して
やっってたんだ
感謝しろよ？



徹底的に
完膚なきまで
洗脳改造させて
もらった



一度捨てた
とはいえ
未練があるか？
くっつなら
教えてやるよ

私の身体に
何をしたん
ですか!!



まさか…!!



せんのう…？

精神不在の肉体
というのは実に
無防備でな

お前が抜け出して
からというもの
お前の脳には休みなく
アビステラー
…そして何より

この俺への服従と
忠誠心を直接
刻み込み続けた

再びこのカラダに
魂が宿った時
何の疑いもなく
俺の命令に従う

従順な下僕に
生まれ変わる
ようにな



ヤリ

アイリス姫
お前の魂を
この肉体に戻し
俺の忠実な奴隷と
なってもらおう！

そして……く

まあその先は
お楽しみだ

いぢぢ

っ！

このままでは
まずい……！

無駄だ

お前は
俺のものに
なる運命
なんだよ

くっ！

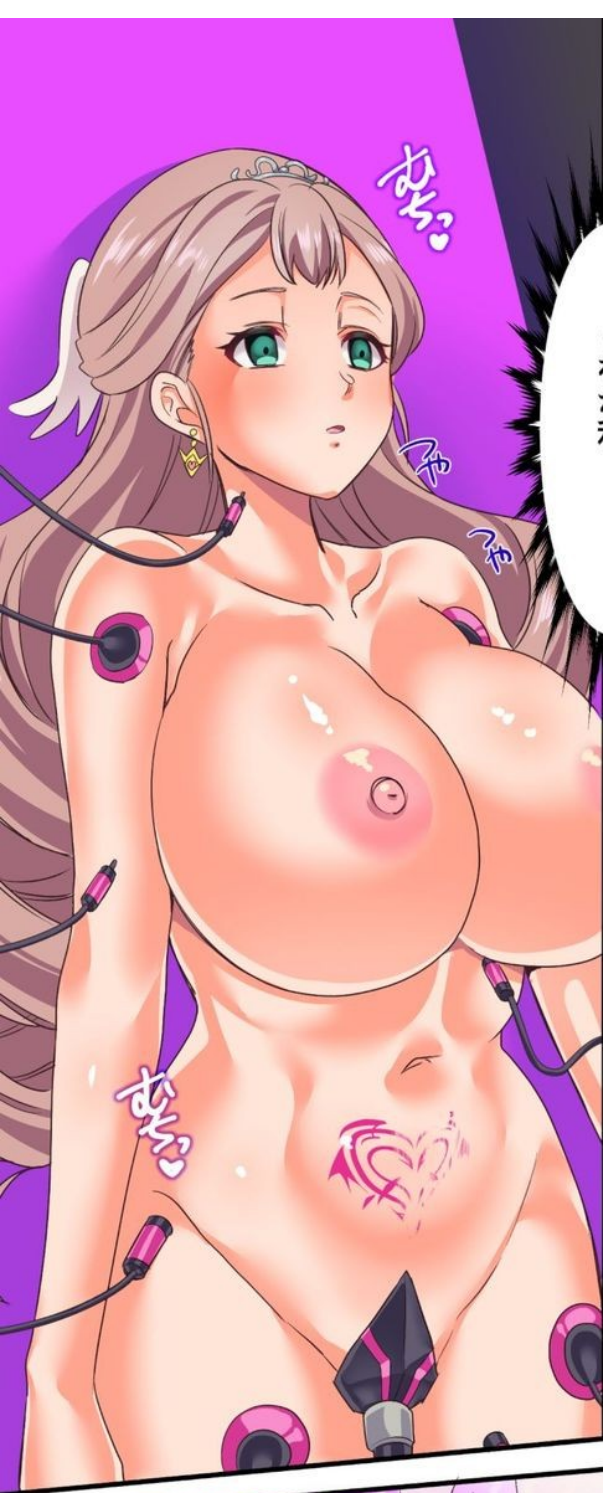
こんな卑怯な手で
私を従えられると
思わないことです……！

あなたは必ず
私に肉体を
返したことを
後悔します

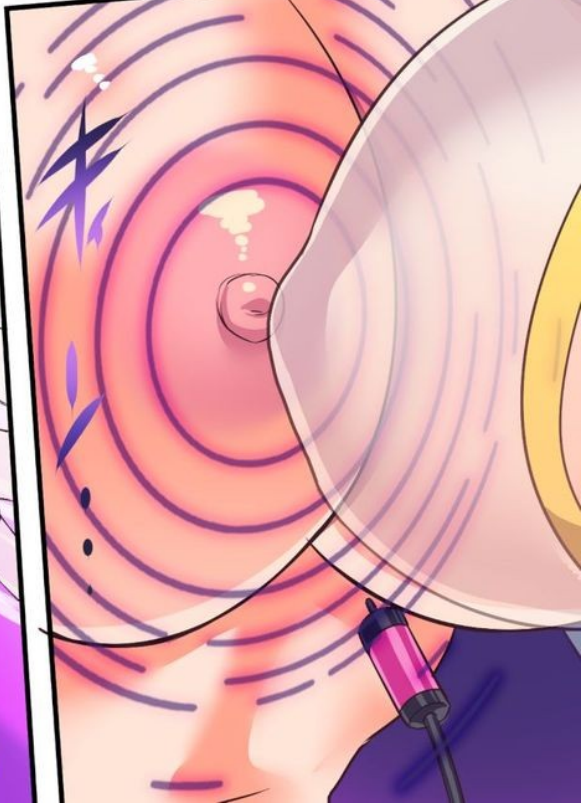
……させて
みせます！

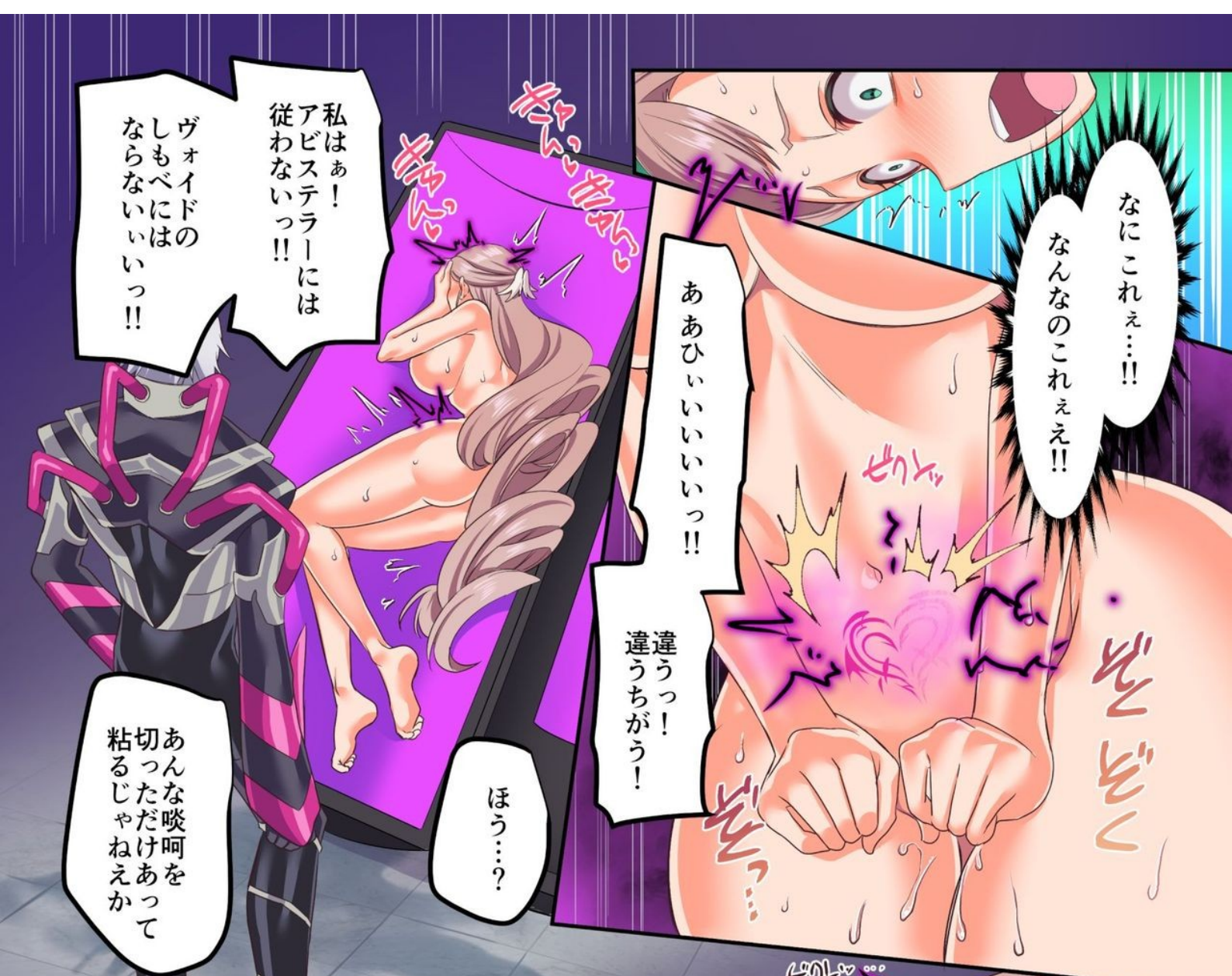
ほう……それは
楽しみだ

ぱんぱん
ばた



これが私…？





私はあ!
アビステラーには
従わないっ!!

なにこれえ...!!
なんなのこれえ!!

ああひいいいいっ!!
違うっ!
違うちがう!

ほう...?

あんな啖阿を
切っただけあって
粘るじゃねえか



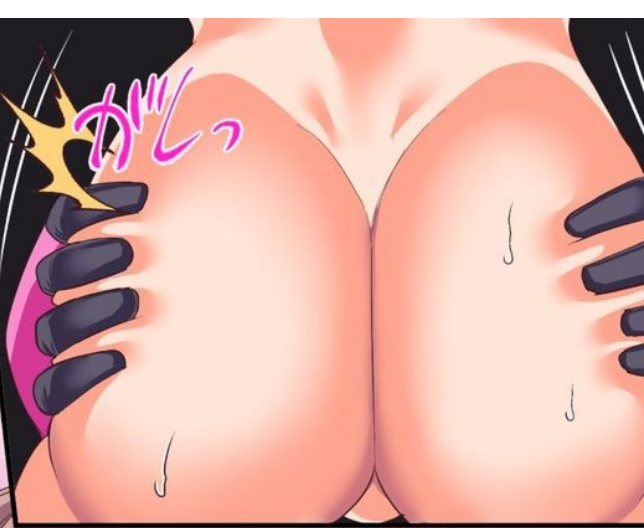
だが無駄だ



肉体と脳髓は
とつくと落ちて
精神の力だけで
堪えるとは...
さすがは誇り高き
亡国の王女様だ



お前は俺のモノだ!!



ダメよ私!
飲み込まれては
ダメ!



あぁあぁあぁ

きもちいい...

気持ちいい気持ちいい
キモチイイ!!

こんなの...!
こんなのってえ!

あぁあぁあぁ



どうにか抵抗して
ここから抜け出すの!

あれ…?

でもどうして抵抗
だいたいのいけないの
だったかしら

こんなに
気持ちいいの…?

ずん ずん

あま あま あま

こんなに
幸せなのに

あま あま

ずん ずん

ああもうダメ…
こんなの耐えられない

心の底から
ヴォイドに…

いえ ヴォイド様
に
従いたいと思っ
てしまっているの

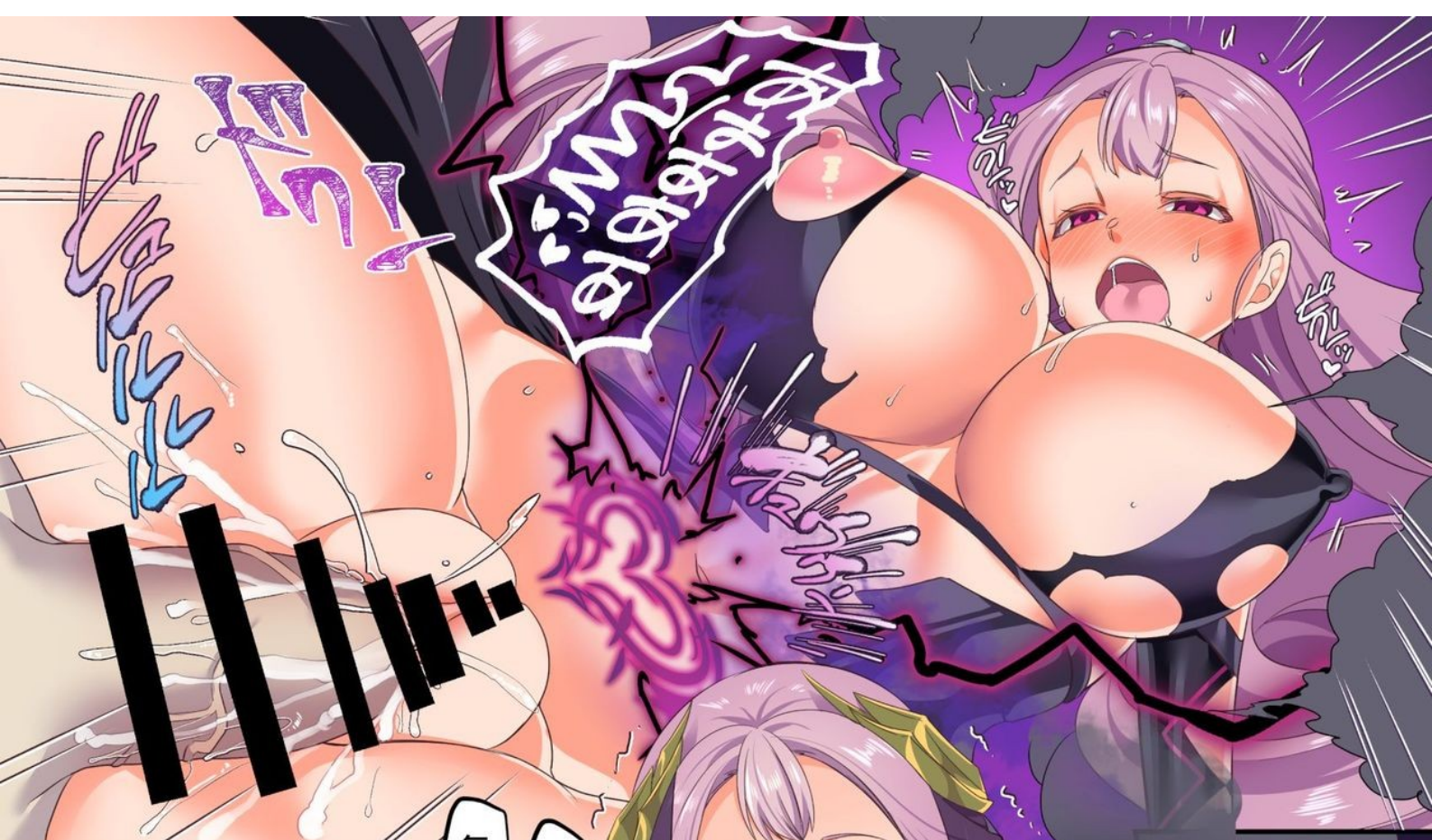
ズ
ズ
ズ

光里
ごめんなさい…

私…
…このお方には
逆らえないみたいです

あ

あま あま

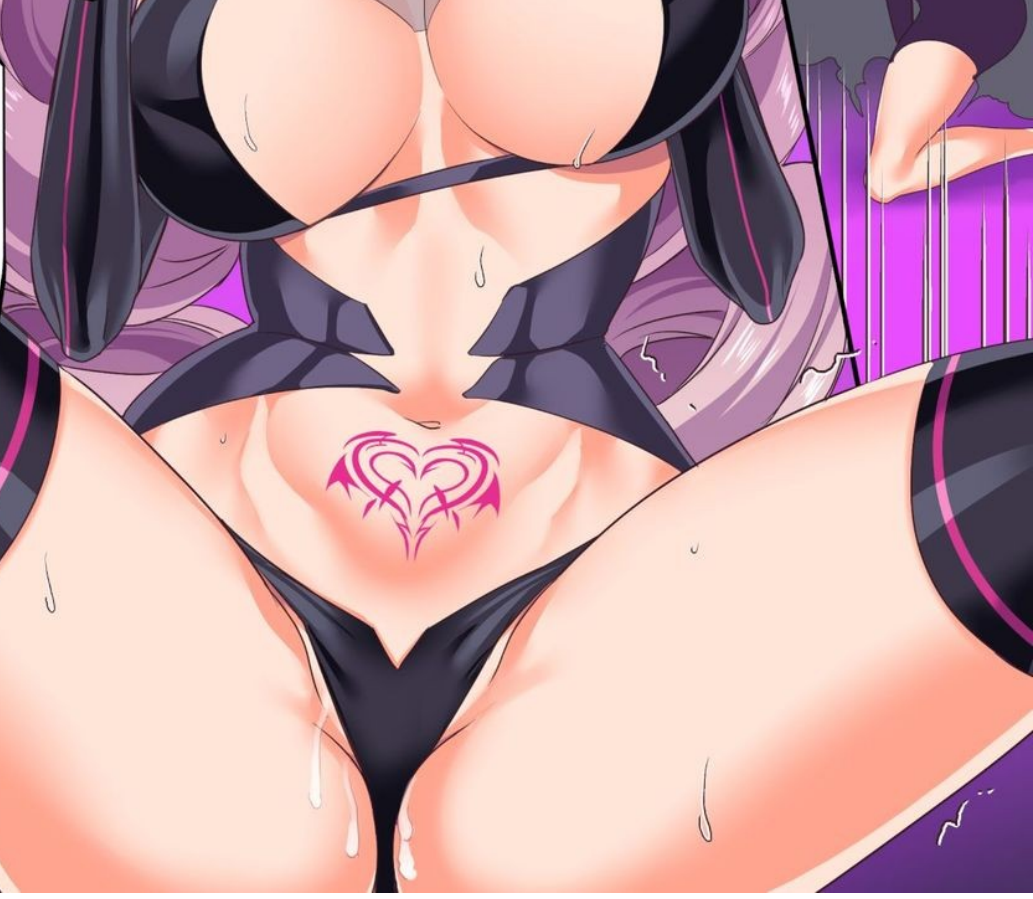


はあ...はあ...はあ...

気分はどうだ？



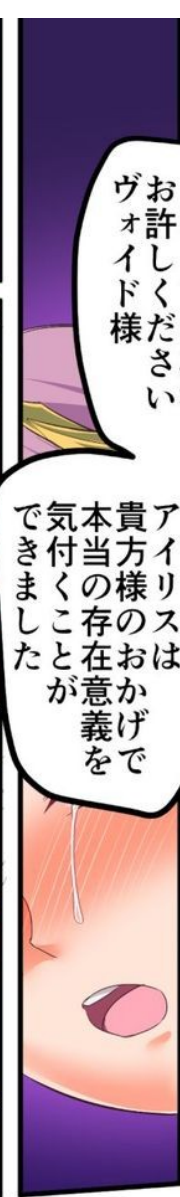
ふふふ
生まれ変わったような
清々しい気分です！





ほう...それは?

それは:
この身尽き果てるまで
ヴォイド様にお仕え
することです♡



これまでの非礼を
お許しください
ヴォイド様

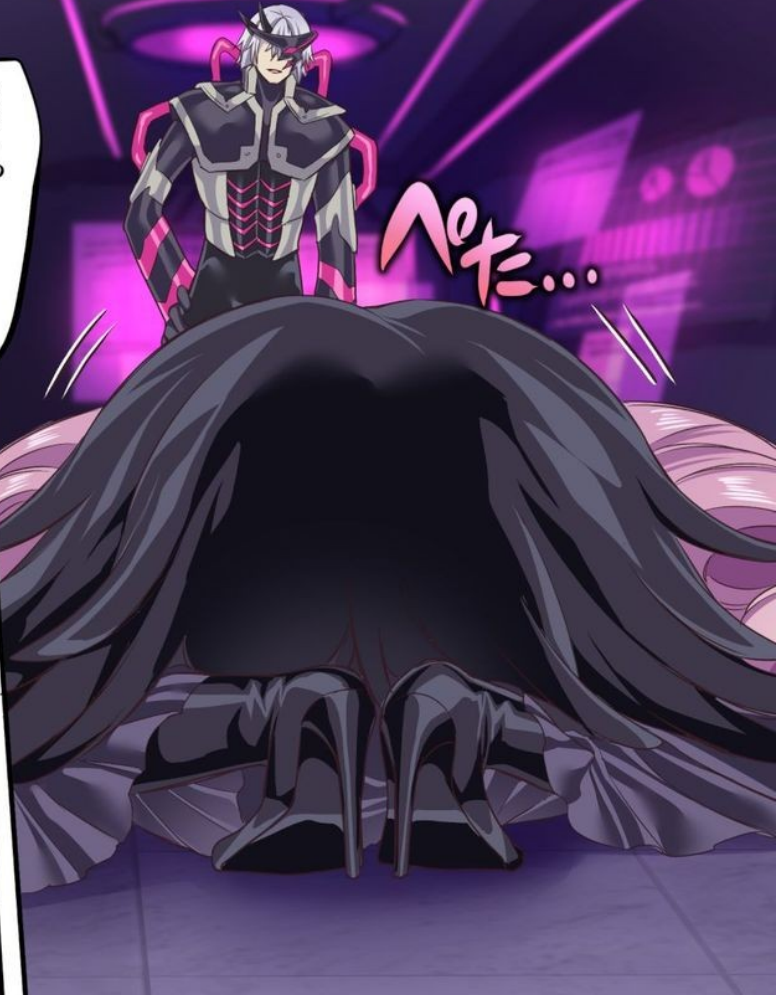
アイリスは
貴方様のおかげで
本当の存在意義を
気付くことが
できました



すっ...



くくっ
先ほども
生意気な口を
利いていた女とは
思えんな



へた...



早速俺の手駒として働いてもらおうか

はいヴォイド様の命とあれば何でも致します

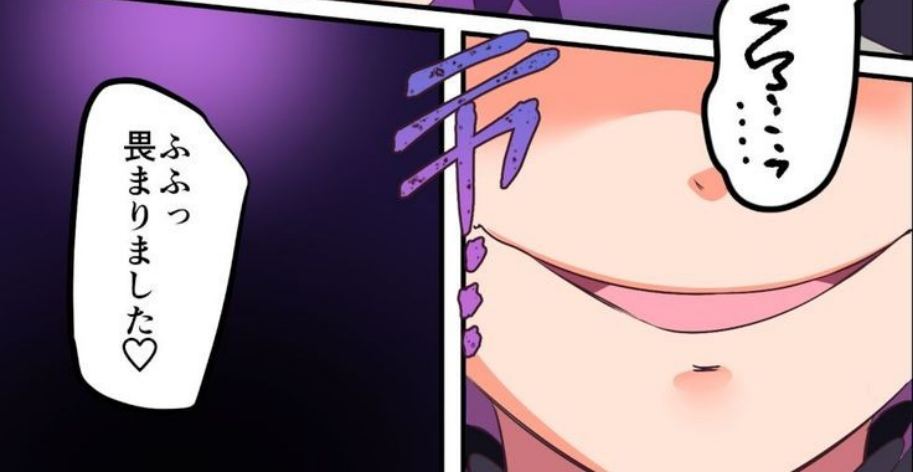
あっ♡



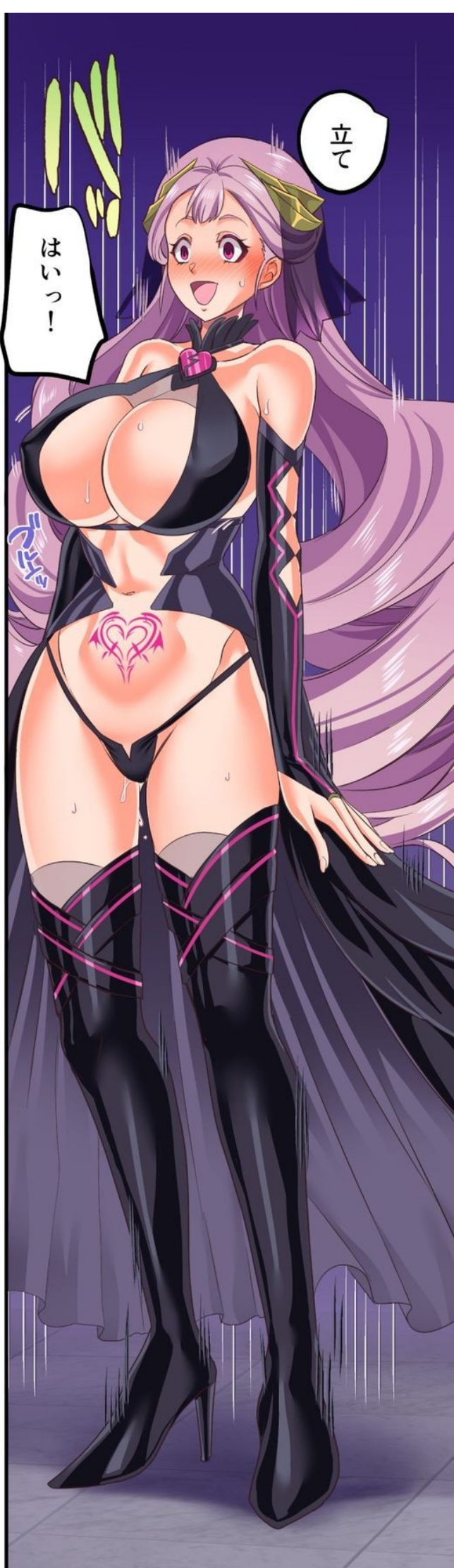
お前が力を貸している依り代の女がいるだろう？



くっくっくっ



ふふっ 畏まりました♡



立て

はいっ！

あんな綺麗なお姫様が
恋愛モノが好きだったのは
ちよつと意外だけど

アイリスの可愛い一面も
見られたのは嬉しいいな



アイリス
昨日の夜から
いないけど
どこ行っちゃった
んだろ……

まあそのうち
帰ってくるよね

今夜アイリスが
好きなドラマ
やるし……



嘘っ
アビステラー!?

この前追いついたのに!
ばかりだった!

っ!!





アイリス
どこにいるの!?



ううん
気にしないで
まさかこんな早く
あいつらが
襲ってくるなんて…

留守にして
ごめんなさい
とても大事な
用があったんです



また何かを企んで
なければいいけど…

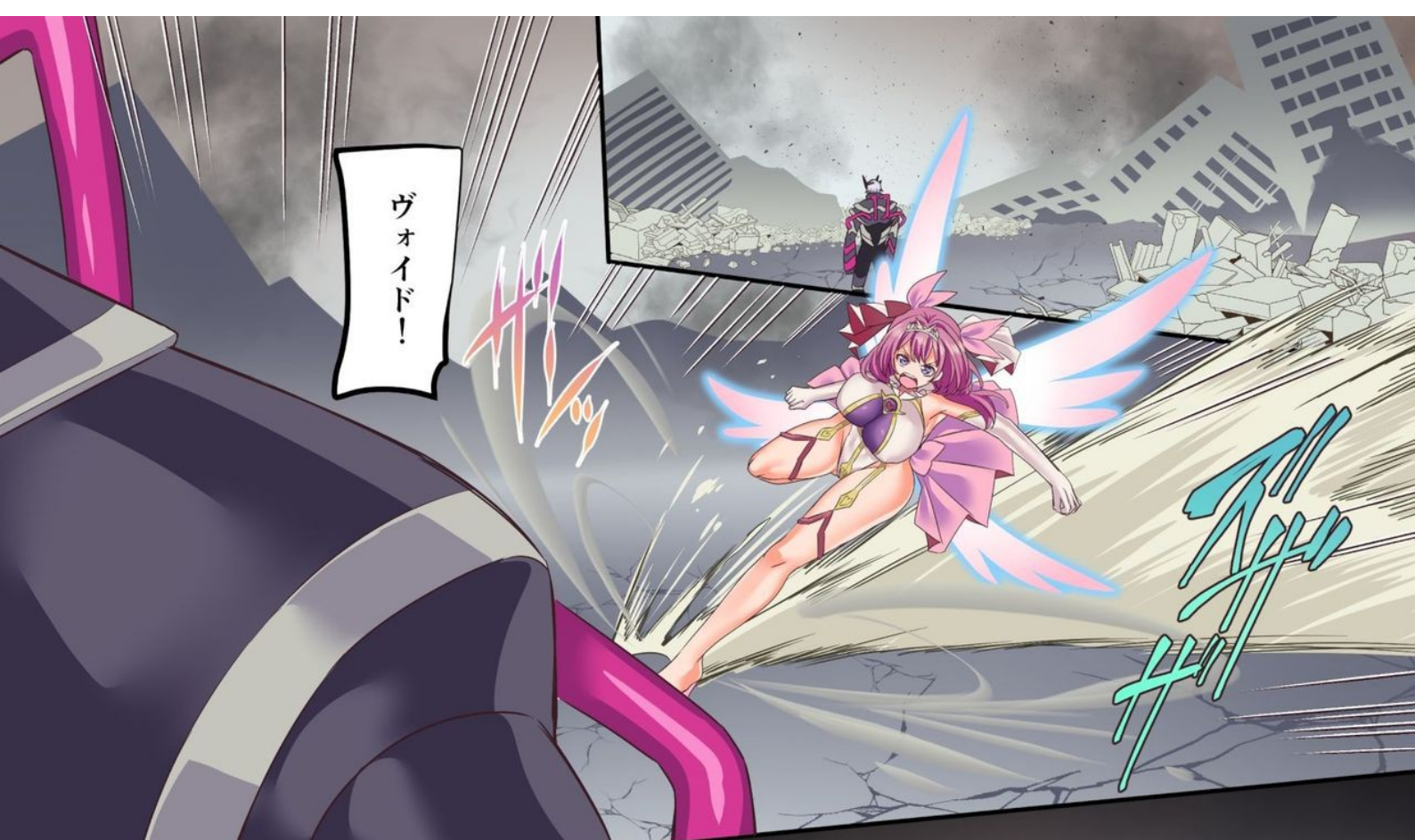


とにかく今は
変身をお願い!





よしこのまま
一気に駆けつけるよ!



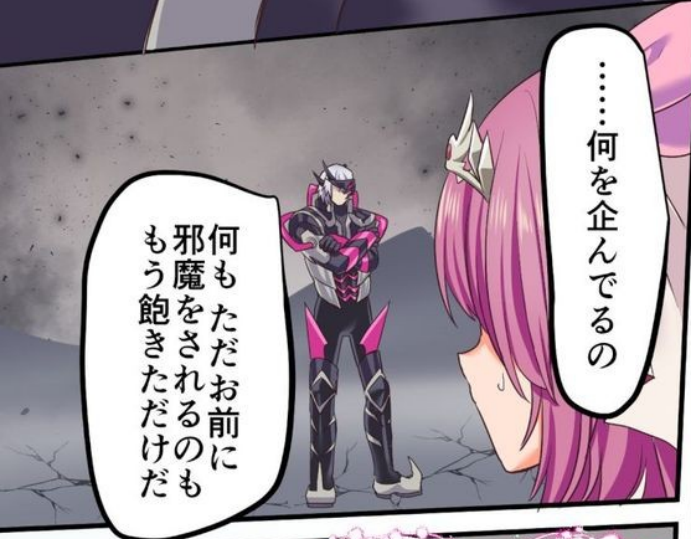
ヴォイド!

ようやく来たか
フェリシア



今日こそ決着を
付けようじゃないか

お前が存分に
戦えるように
ご覧の通り
人払いは済ませて
おいたぞ



……何を企んでるの

何もただお前にも
邪魔をされるのも
もう飽きただけだ



光里
罨の可能性も
あります
ここは慎重に
相手の出方を
見ましよう

うん!



手加減はなしよ!

ヴァイオレット・スラッシュ!

うそっ
片手で!?

つまらな
この力な
お前の
フェリシアか?

え...?

この程度は
易々と
受け止めますね
さすがヴォイド

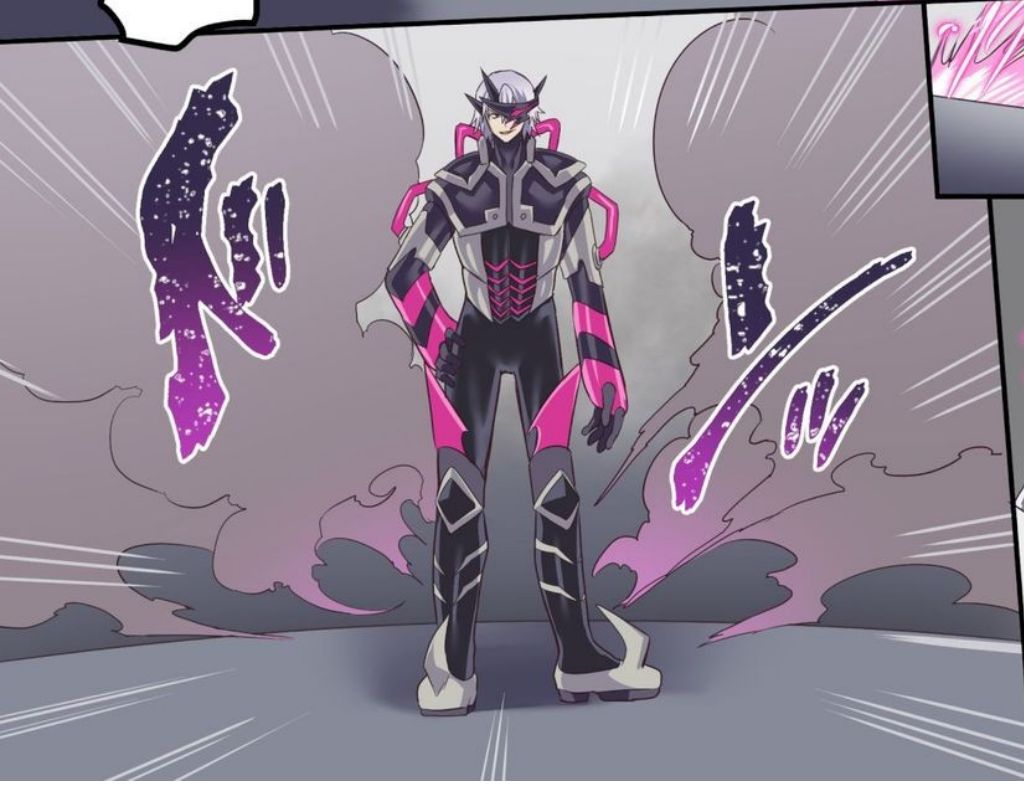


っ！
いい気に
ならないで！

これまでの悪行を
後悔させてあげる！！

クッ
オッ

ヴァイオレット・パニッシャー！



クッ
オッ





かはっ!!

ドグッ



嘘でしょ…?



お前が弱くなっただ

俺が特別な強くなっただんじやない



かっ!
くはっ!

どうして急にこんな強く…!

理解が追いつかないから教えてやる



え…?

攻撃の威力も早さも普段の半分以下
なぜかわかるか?

バレてたのね！
でもそんなわけ
ないでしょ!?

お前の中にいる
アイリス姫が
力を貸すことを
拒んでいるからだ

くくっ
ならば証拠を
見せてやる

アイリス

変身を解け

はぁ♡

アイリス

アイリス



えっ!?
どうして!?

ほう
あのフェリシアの
正体はこんな小娘
だったとは…

それもなかなか
整った容姿を
している

アイリス…!
どういふことなの!?
ねえ返事してよ!

アイリス…!

なんで!?

光里か…

アイリスに
選ばれただけ
あって

さぞ純粋な
心の持ち主
なのだろうな

小娘
名前を
何という?

言うわけ…
な…!っ

!た高峰

光里です
…!?

は
離して…!

アイリス
どうして返事して
くれないの!?

ほう!

これほどの窮地に
追いやられても
なお俺を睨み
つけるか
気に入ったぞ小娘
さすがは
フェリシアの器だ

パンパン



オオオッ



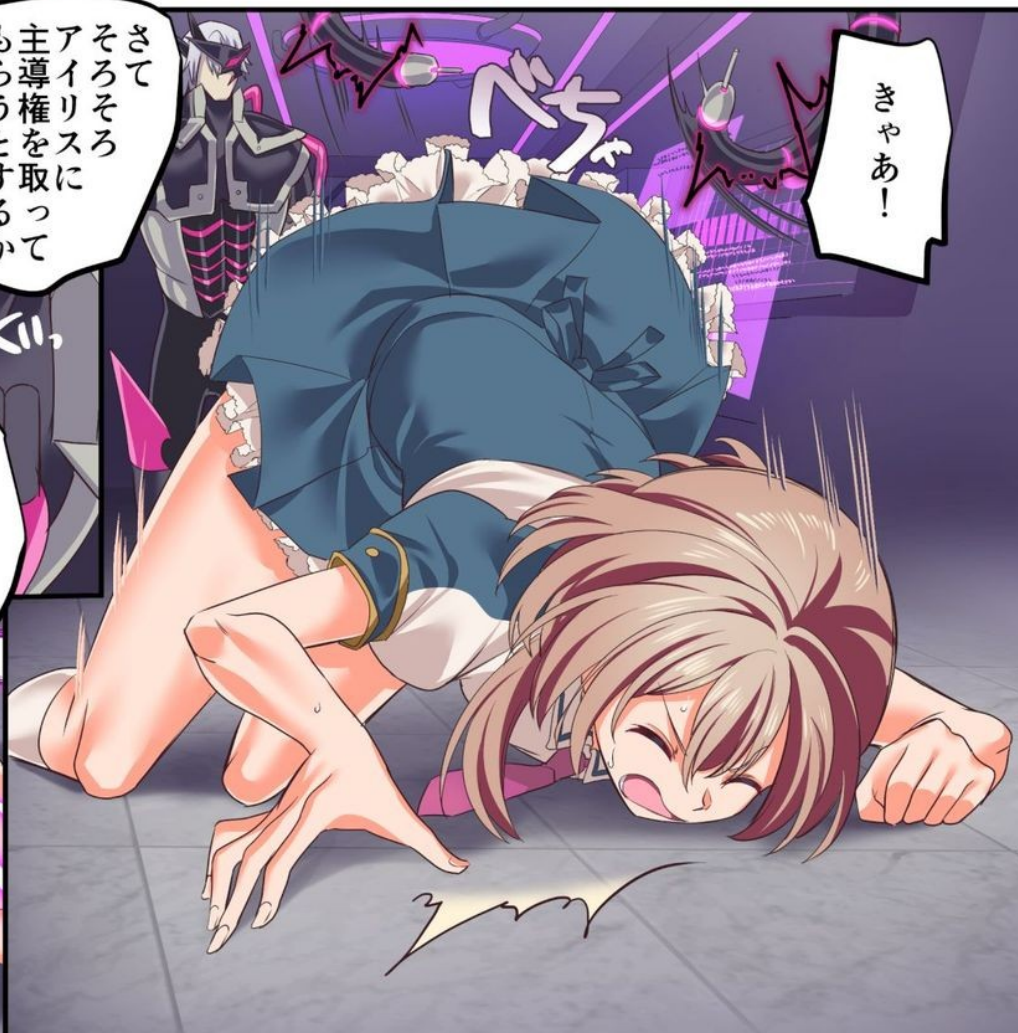
その清らかな肉体
俺たちに提供して
もらおうとしよう



きゃあああっ！

さて
そろそろ
アイリスに
主導権を取って
もらおうとするか

もう一度
変身しろ



きゃあ！



なにこれ…

アイリス
表に出てこい

今からその身体の
支配者はお前だ

アイリス!!
本当に
どうし
ちゃったの!?

今まで私の身体を
勝手に使うなんて
回避の時くらいしか…

ちよっと!
勝手に何言って…

その姿はお前の
再誕の時が
近い証拠だ

さっきから何を
言ってるの!?

あなたがアイリスに
何かしたんでしょ!?
答えてヴォイド!

…はあい♡

ごめんなさいね
光里

このカラダ
ヴォイド様の
ために使うこと
に
したんです

ふふふ
光里もすぐに
分かります



ああ俺とお前で
新たなアビステラーの
戦士を生み出そう

ややめて…!!

さあヴォイド様
このカラダを
たっぷりと貴方様の
色に染めてくださいませ

ヴォイド様あ…

んむ…

んちゅ…
んふあ♡

愛していまふ♡

くくあの憎き
フェリシアであっても
雌の表情というのは
実にそそるな

ひ酷い…!!
私のファースト
キスだったのに…!!

毛汁
毛汁

毛汁…

ちゅっ

ん
ん

ちゅっ





このカラダがどんどん
昂ってきちゃいます♡

よかったあ♡
私も気持ち
いいです♡



んふあっ♡
ヴォイド様は胸が
好きなんです

ああ
揉みごたえの
ある女は最高だな



なら
こういうのは
どうだ？



んああっ!
もうやめてえ!

さてそろそろ
入れさせて
もらおうとするか

私感じて
しまいますっ♡

あああああっ♡
それとても
イイですう♡

もみ
もみ

もみ
もみ

もみ

もみ



すすごころ♡
 何回も味わったのに
 もう一度初体験を
 味わえるなんて
 幸せえ♡

やはりその
 カラダも初物か
 どうりで締め付けが
 これほどいいわけだ



あっ
 あっ
 あっ
 あっ♡
 あはあっ♡

んっ!
 んはああっ♡

ヴォイド様の
 ペニスが
 私を蹂躪して
 ますうう♡

もう分かった
 でしょ光里

このお方に従えば
 永遠の幸せと快感が
 手に入るのよ

もうすべてを
 委ねましょう?

んあああっ!
 どうしてこんなに
 気持ちいいのぉ!?

アイリス...!
 お願いだから
 お願いで
 正気に戻って
 ええっ!

邪悪な力が
 流れ込んで
 きますう♡



ヴォイドは
アイリスの世界を
滅ぼしたんだよ!?

そして
この世界も…

全部めちゃうくちやに
されちゃうんだよ!?

んんふっ!
それが何か?

私にはもう
ヴォイド様以外
何も必要
ありません♡

光里
それはあなたも
例外ではありません

おきゅん♡
おきゅん♡

おきゅん♡
おきゅん♡

おきゅん♡
おきゅん♡



はい

さようなら♡



私のお友達
だったの
であえて意識は
残してあげて
ました♡
聞き分けが悪い
ようなので
完全に身体を
乗っ取って
しまいますね♡

え…?
嘘でしょ?

待って待って
アイリス!

話を聞いて
おねが

ゴキリッ…



お遊びは
終わったか？

はいできれば
光里にもヴォイド様の
素晴らしさを理解して
もらいたかったのですが

そろそろ頭の中で
騒がれるのも
鬱陶しかったので
このまま私の一部に
なってもらいます

くくではお前同様
肉体ごと堕ちて
もらうとするか

はいっはいっ♡
お願いします♡
光里のカラダを
私の新たな肉体を



貴方様の力で
生まれ変わらせて
ください♡

ならばラスト
スパートだ！
俺の力で堕ちろ
フェリシア！！

んっ♡
あっ♡
あっ♡
あぁ♡
あぁ♡

は激しっ♡
素敵ですヴォイド様あ
んはあぁ♡♡♡



いえ... それだけでなく♡

突かれるたびに 身体が馴染んで いきます♡



私ひかり アイリスの中で渦巻いてえっ♡

くるっ♡キマます♡



もっと... 大きな♡

何かが...♡



んっ♡

暗黒魔姫
ダークフェリシア
ここに再誕いたしました

ヴォイド様
私のすべては
貴方様の御心の
ままに…ふふふ

その肉体に
定着できたか
アイリス

は♡♡

正確には
アイリスと
光里の意識が
混ざり合っ
ているので

どっちか
というわけ
ではないで
すが

ヴォイド様
の忠実な
しもべで
あること
に変わり
ありません

そうか
遂に手
に入れる
ことが
できた
んだな！

あの
フェリ
シアを！
ははは！

これで
アビス
テラー
を邪
魔す
るもの
はい
ない！

喜んで
頂けて
私も
嬉しい
です♡
ふふふ





準備が整ったら
 侵攻を再開する

生まれ変わった姿を
 この世界の人間どもに
 見せてやれ

お前という強大な
 戦力を手に入れた今
 この世界を支配
 するのも容易いだろう

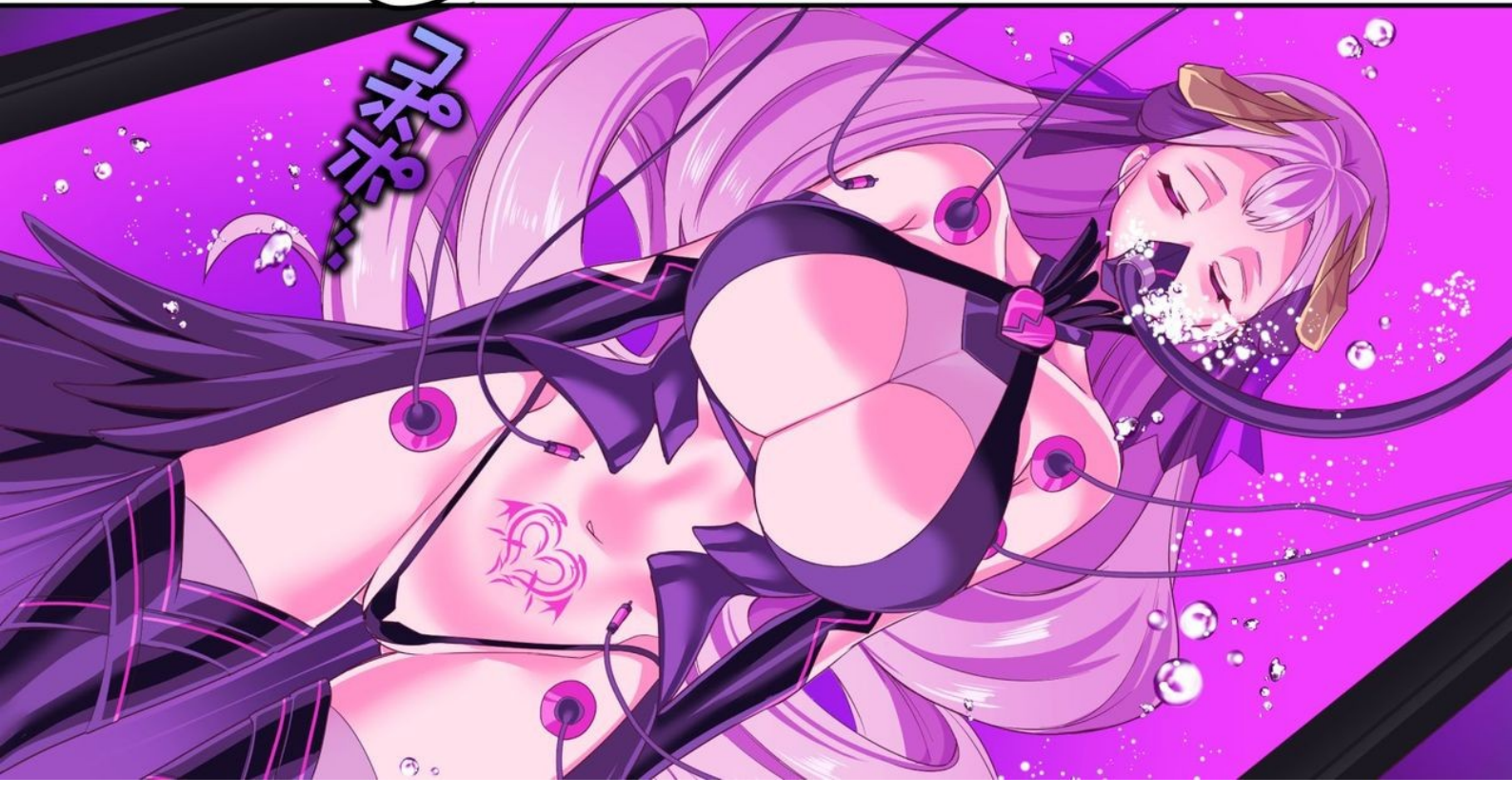


……
 言ってみろ

ヴォイド様
 そこでひとつ
 提案なのですが



アレも
 有効活用
 しませんか？





くくっ
まさかお前の
肉体を操ることに
なるとは…

オオオオ

あはは！
逃げ惑いなさい！
私に切り裂かれたく
なかつたらね！



女のカラダ
というの
悪くないものだ
んっ！

毛む

そうだな



当然です♪

そのカラダは
ヴォイド様専用
なんですから
思い通りに
動かないわけが
ありません

しかし
想像していた
よりも良く
馴染む…
発揮できる力が
元の肉体とは
段違いだ

オオオ



この制圧が
終わったら
褒美頂けますよね
ヴォイド様

ああ消した
命の数だけ
お前をイカせてやる

やったー♡

なら
張り切っちゃい
ます♪



どうだアイリス？

いや
ダークフェリシアに
元の自分のカラダに
犯される気分は？

あっ！ああっ！
ああんっ！

最高ですっ
ヴォイド様あ♡

ヴォイド様に犯して
もらっていると
考えているだけで
私、何回もイッてます♡

んっ！
んあああっ！

お前のカラダも
なかなかいいぞ…

肉体改造を
施したとはいえ
ここまで快楽を
味わえるとは…

これは病みつきに
なりそう…だ…
んんっ♡…だ…

んあああっ♡

ああっ
嬉しい…♡

私のカラダで
ヴォイド様に
喜んで
もらえるなんて…

生まれ来れて…
生まれ変わって…
生まれ変わった…♡

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ



ヴォイド様…

ヴォイド様あ
私、もうっ♡

お、おいつ♡
き、急にそんなに激しく
突かれたらっ♡

んあっ♡あっ♡

あああっ♡

あははは
あははは

あははは
あははは

あははは
あははは

はあ…
はあ…

これから俺のために
たっぷりと
働いてもらうぞ
フェリシア

はい、喜んで♡

アアアア

お誘いありがとうございました! / デビルダンス



ヴォイド様あ♡
その前にもう少しだけ
お恵みを…♡

くく…
あのお姫様が
すっかり堕ちた
ものだな

いいだろう
しっかり奉仕
してくれよ?

ああっ♡
ヴォイド様の逞しい
ペニス…♡



だいたい
ああ
はち

ああ
ぽち
はち

はち

ぽち